

令和4年（2022年）の丸山の火山活動

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2022年の発表履歴

2022年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
------------	-------------------

○2022年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～3）

9月2日に国土交通省北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。第1火口～第3火口に噴気は認められませんでした。また、赤外熱映像装置による観測では、第3火口の地表面温度分布には、前回の観測（2021年8月）と比べて特段の変化はありませんでした。

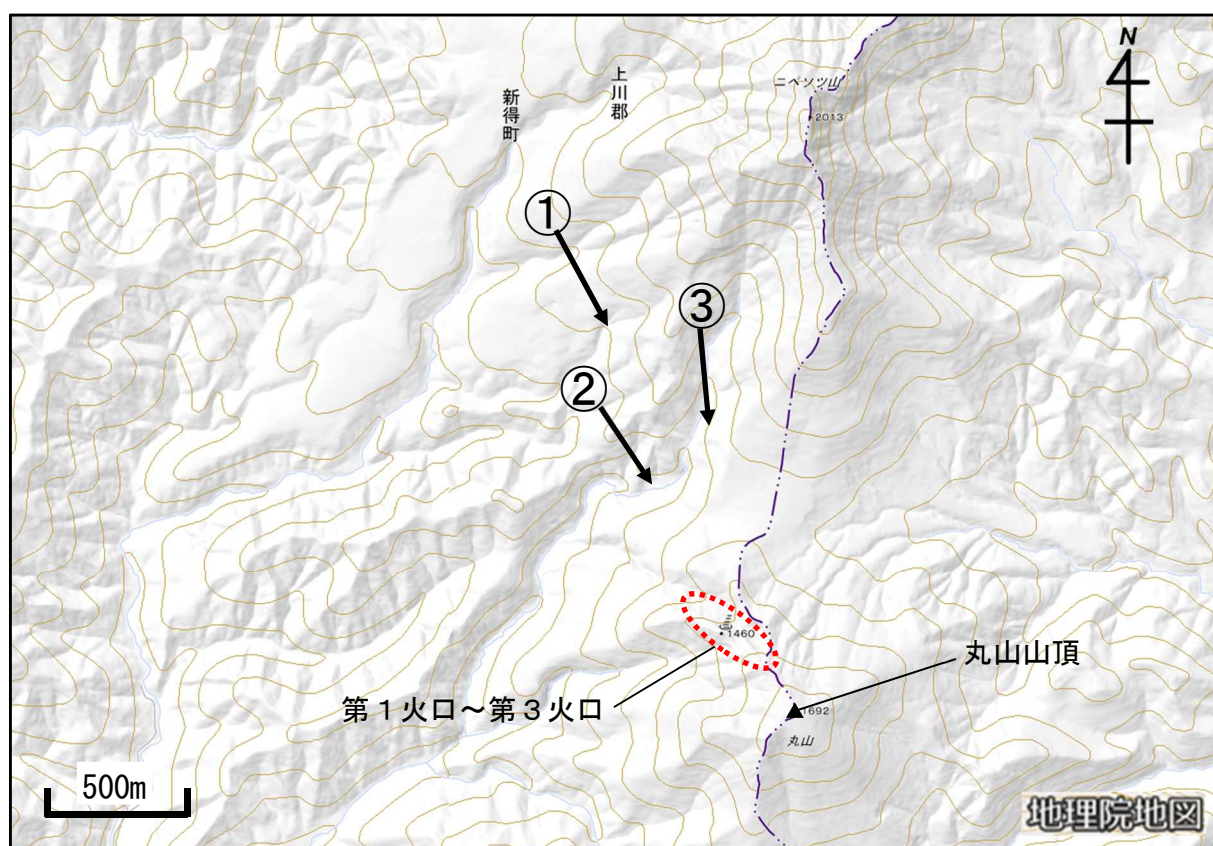


図1 丸山 写真及び赤外熱映像の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 丸山 北西斜面に位置する火口列の状況 北西側上空（図1の①）から撮影
 ・第1火口～第3火口に噴気は認められませんでした。

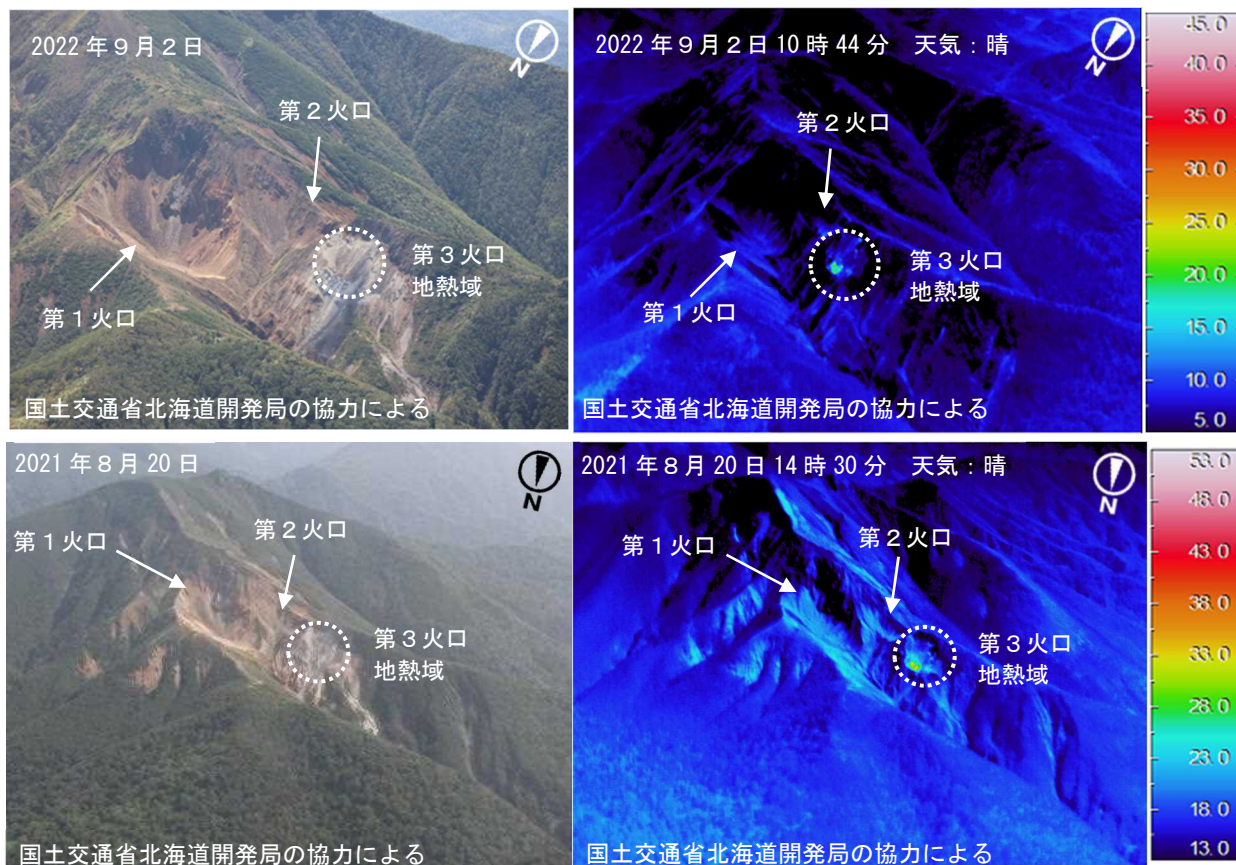


図3 丸山 赤外熱映像装置による第1火口～第3火口の地表面温度分布

上段：北西側上空（図1の②）から撮影 下段：北側上空（図1の③）から撮影

- ・第3火口の地熱域（点線で囲まれた領域）の地表面温度分布は、前回の観測（2021年8月）と比べて特段の変化はありませんでした。また、第1火口及び第2火口には地熱域は認められませんでした（周囲に比べて温度が高く見えるのは日射による影響と考えられます）。